

2J-80

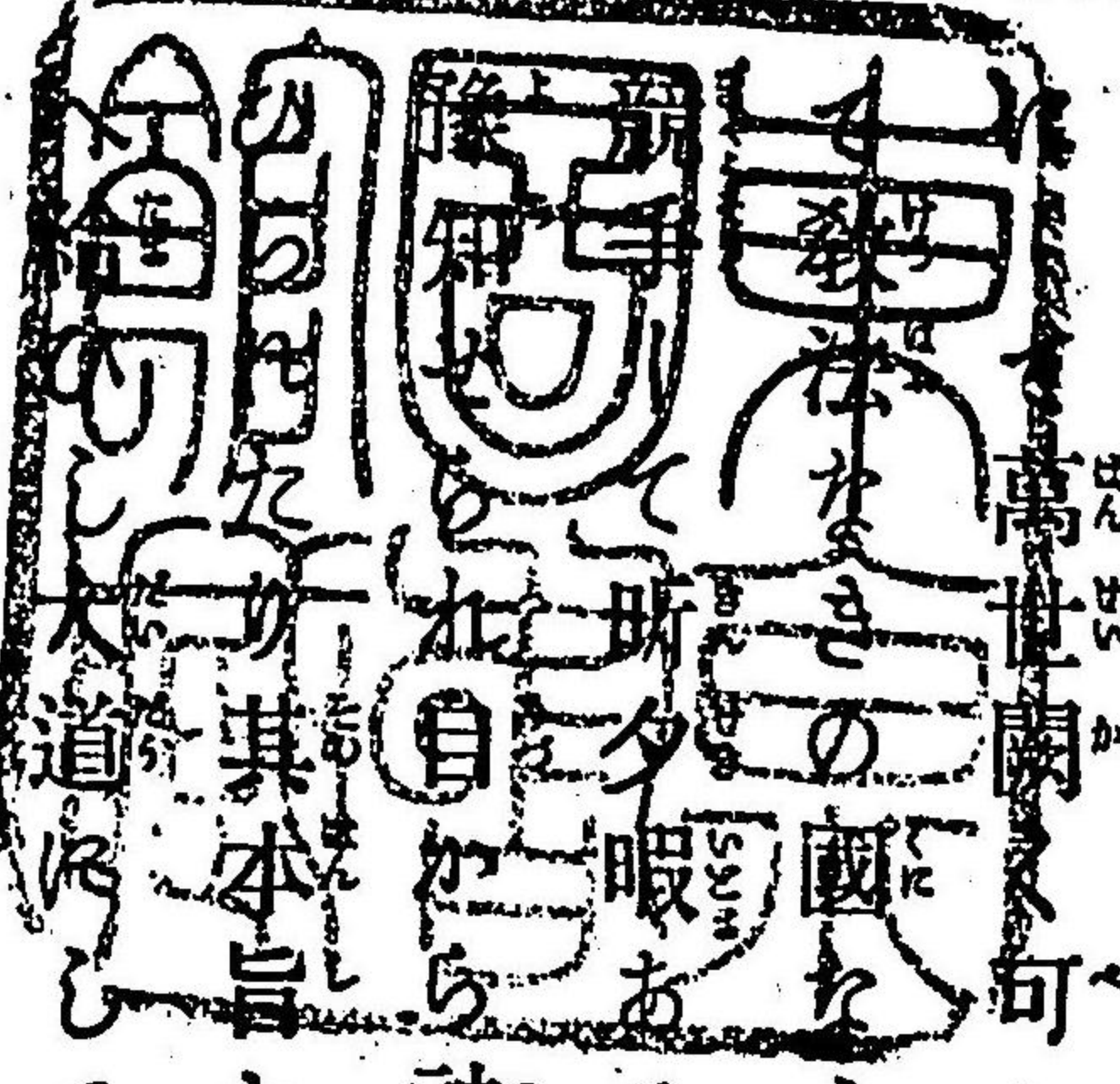
特17
899



由斯會趣意書並會則

由斯會趣意

按るに輓近宇内一變萬機更新なり東西各國互に雄を
勢を張る就中人倫道義の教は世を治め國を保つの一基礎



萬世開く可からざるは論を俟たざるなり故に國とし
其教法亦數種あり各其主義を皇張一相
新し其教祖夙に今日の時運あるを
神道復興の大任を擔ひ畢生力を教務に用
其本旨たるや我皇祖天照大御神の定め給ひ教
大道にして我歴朝聖帝の遵奉確守し給ふ所の

神典皇道に淵源せり嗚呼尊き哉其奧妙秘鍵に至りて我神
理概論本教要旨及び其他の諸冊に詳びらかなれば又更に贅



せず是を以て教理の解する所萬人歸向し教旨の徹する所士
民幸福を受く今や本教尊信の徒殆んど四百萬人に垂んとせ
斯道の爲め豈慶祝せざるを得むや古人云へること有り曰く
陽氣所發金石亦透精神一到何事不成嗚呼一人の精神すら猶
斯の如し況んや我四百萬の信徒諸君に於てとや其精神を練
て以て一團となし其至誠を凝して以て一致となし熱心奮勵
して斯大道を擴張せん天下何事か爲し能はざる事あらん
や本會茲に感あり即ち飛檄して此れを信徒諸君に勸告し此
壯快ある時勢に乗し此大道をして天下に普及せしめ以て我
國體の宇内萬國に無比なる理由を明らかにし 皇祖天照大
御神の神恩に報し奉り以て我 今上陛下の宸襟を安んじ奉

らんと欲するなり今や古今未曾有の一大氣運に會し居なか
ら宇内各國の名士學者に交はり坐して世界萬國の形勢を知
る實に壯快を極むるに非すや然れども一得あれば一失あり
學說是か爲に紛々議論是か爲に湧か如く人情浮薄に流れ風
俗此に頽廢し辨佞徳と誣ひ機巧義を凌き譎詐權謀徒らに法
網を洩るゝの黠計を是務め所謂免れて耻づることなき者國
家滔々として多くは斯の如し噫本邦固有の風俗何れにかあ
る忠孝節義の本教何れにか存する今よして之れか矯正を計
るに非されは宇内無比の我國體何に由てか之れを保ち日本
君子國の美風何に由てか之れを全ふせむ若し之れをも忍ふ
へくんは何れをか忍ふへからざらん是れ今回本會の興らさ

るを得ざる理由にして本教の振つて此救正の責任に當らさ
るべからざる所以なり嗚呼我忠愛なる諸君能く此意を了解
せられ深く此舉を賛成有りて規則書に掲ぐる所の條項を熟
讀翫味し各自振て應分の責に任し内は即敬神謝徳の誠を務
め外は則勤儉積功の實を表はし風を易へ俗と移し忠孝節義
の大道をして振作勃興せしめ一身一家より一村一郷及は
し漸むで郡縣より全天下に普及せしめ我國家を富嶽の泰さ
に置き以て神徳皇恩の高きに報ひ以て教祖垂示の本旨を貫
徹せしめ則諸君と相提携して國家矯正の大任に當らんと欲
す豈亦一大快事ならずや遂に黙すること能はず以て諸君に
計るに至れり諸君請ふ能く之れを諒せよ

明治廿七年

由 斯 會

會 長

正三位子爵 岩 下 方 平

幹 事

藤 井 九 二 吉

幹事兼
會計監督

山 口 蕃 昌

由斯會規則

第一條 本會ハ趣意書ニ基キ左ノ項ヲ實施スルヲ目的トス

一大教會所建設ノ事

一皇學擴張ノ事

國體ヲ辨明シ 本教ヲ研究シ 生徒ヲ養生ス

但其規則ハ他日之ヲ定ム

第二條 本會ハ東京ヲ本部トシ支部ハ各府縣黒住教々會所ノ内便宜ノ地ニ設ク

但創業中本部ハ東京市麴町區内幸町一丁目五番地黒住教假大教會所内ニ置ク

第三條 本會ヲ贊助シ會員タラント欲スル諸彦ハ本部又ハ支部へ申出テ

(第一號書式)ノ入會證へ記名捺印セラルヘシ本會ハ直チニ會員證ヲ呈スヘ

シ

但會員證ハ一名ニ一葉トス
第四條 本會々員ヲ左ニ區別ス

會員等差	納金月額	一ヶ年額	百ヶ月満額
協賛員	金五拾錢以上		
一等會員	金拾五錢	金壹圓八拾錢	金拾五圓
二等會員	金九錢	金壹圓〇八錢	金九圓
三等會員	金參錢	金參拾六錢	金參圓

第五條 本會々員ハ前條ニ依リ入會ノ月ヨリ寄納金ヲ向テ百ヶ月間寄納セラル、モノトス

但寄納金ハ一時皆納又ハ年何回ニ寄納セラル、モ隨意タルヘシ
第六條 寄納金ノ全部ヲ皆納セラル、モハ左ノ徽章ヲ呈ス



會員等差	徽章種類	別寸	法	綬
協賛員	中央金色	壹寸壹分	紫	白
一等會員	光線銀色	壹寸	赤	白
二等會員		九分	桃	白
三等會員		八分	綠	白

第七條 寄納金全部即納者ヘハ遞送費及ヒ手數ヲ省クヲ以テ貳割ヲ減ス
第八條 寄納金ハ毎月二十五日迄ニ其所轄ノ本支部ヘ送致セラルヘシ

但寄納者ノ便宜ニヨリ領收人ヲ其所轄部ヨリ派出セシムル時ハ本部ハ會長ノ捺印アル(第二號書式)ノ領收證ヲ携帶交付セシム支部ハ支部長ノ捺印アル(第三號書式)ノ假證ヲ携帶交付セシムルモノトス

第九條 各支部ハ寄納金ヲ毎月末(第五號書式)ノ納金報告書ト(第六號書式)ノ支出金報告書トノ二通ヲ調製シ(第七號書式)ノ收支決算ヲ明記シタル送金狀ヲ付シ(郵便)爲換ヲ以テ本部へ送致スルモノトス

第十條 本部ハ支部ヨリ寄納金ノ送達ヲ受ルトキハ其都度寄納者へ交付スベキ(第四號書式)ノ木證及ヒ入帳証ヲ支部へ送付スル者トシ支部ハ其本証ヲ直ニ寄納者へ送付スルモノトス

第十一條 本會ハ左ノ帳簿ヲ具備ス

一 會員名簿

一 寄納金受取簿

一 金錢出納簿

其他補助簿

第十二條 本會ノ諸帳簿ハ(執務時間外)會員閱覽ノ請求ニ應ズルモノトス但他所へ携帯スルコトヲ得ズ

第十三條 本會ノ寄納金收支決算書ハ其年一月ヨリ六月迄ノ分ヲ八月ニ七月ヨリ十二月迄ノ分ヲ翌年二月ニ各支部ニ報告スベシ

但本支部ニ於テハ會員一般へ報告スル爲メ各部内ニ揭示スベシ
第十四條 本部ハ收入シタル寄納金ヲ第一條ニ掲グル所ノ目的ヲ達スル爲メ確實ナル銀行へ特約預ケ置クモノトス
第十五條 本部ニ左ノ役員ヲ置ク

會長

壹名

本會百般ノ事務ヲ總理ス

副會長

壹名

會長ニ亞ク會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

幹事

三名

會長ヲ輔翼シ會務ヲ分擔ス

會計監督

若干名

本會ノ財務ヲ監督ス

書記

若干名

會長以下ノ指揮ニ從ヒ部内諸般ノ事務ヲ分掌ス

顧問

無定員

正副會長ノ諮詢ニ對シ意見ヲ述フ

第十六條 支部ニ左ノ役員ヲ置ク

支部長

一名

會長ニ隸シ其部内ノ事務ヲ管理ス

理事

若干名

支部長ヲ輔翼シ支部長事故アルキハ之ヲ代理シ且部内ノ會務ヲ分掌ス

書記

若干名

支部長以下ノ指揮ニ從ヒ部内諸般ノ事務ヲ分掌ス

第十七條 會計監督ハ黒住教本廳員二名地方會員中身分確實ニシテ名望

アル者若干名ヲ以テ之ニ充テ輪換交任スルモノトス

第十八條 支部長及ヒ理事ハ其部内在勤教師又ハ其部内會員中身分確實

ニシテ名望アル人ヲ以テ之ニ充ツ

第十九條 會員中本會ノ利害ニ關シ建議ヲ要スルトキハ本部内ハ幹事ヲ

經由シ支部内ハ支部長ヲ經由シテ會長ニ呈出セラルベシ

第二十條 會員中轉居轉籍等總テ身體ニ異動アルトキハ其都度所轄部へ

届ケ出デ所轄部ハ本部へ通牒スベシ

第二十一條 本會規則ハ實施ノ上若シ支障アリト認ムル條項ハ之ヲ訂正ス

但本文ノ場合ニハ各支部へ諮詢スルヲアルベシ

第二十二條 本部ノ都合ニヨリ岡山縣下黒住教本廳内へ出張所ヲ設ク

但役員ハ本部ヨリ出張ス

第二十三條 本會擴張ノ爲メ募集委員ヲ置キ各地ヲ巡廻セシム

但募集委員心得書ハ別ニ設ク

第二十四條 本會本部及ヒ支部ノ印章ハ左ノ如ク之ヲ定ム

本部印章

由斯會

方一寸二分

本部印章

本部印

支部印章

何々

支部印

本部印

隸書朱文

支部印

隸書朱文

(第一號)

入會證

本籍及族籍	現住地	生年月日	寄納金月額
貴會之旨趣ヲ賛成シ入會候也 明治 年 月 日 姓名印 由斯會長正三位子爵岩下方平殿			

十四

紹介者ノ認印

(第二號)

第 號 證

本部内會員ニ對スル領收證難形

割印

一金 主任印 寄納金

但何年何月分

右正ニ領收致候也

明治 年 由斯會本部 會長 姓名 名印
月 日 何々會員何某殿

第 號

主任印

會員番號 第 號
會員等差 會員

會員姓名

納金月額 金

納金月別 月分

一金

要摘

明治 年 月 日 納

請取簿 丁數

丁記入

出納簿 丁數

丁記入

割印

十五

支部ヨリ其部内會員ニ對スル假証難形

割印

(號三第)

第 號

假証

主任

一金

Ⓢ

寄納金

但何年何月分

右正ニ領收致候追テ本領收証
差出候也

由斯會何支部

明治 年

支部長 姓

名印

月 日

理事 姓

名印

何會員何某殿

第 號

主任

Ⓢ

會員番號

第 號

會員

姓名

會員等差

會員

姓名

納金月額

金

納金月別

月分

一金

要摘

明治 年 月 日納

請取簿

丁數

出納簿

丁數

割印

(號四第)

支部會員ニ對スル本部領收証難形

割印

第 號

證

主任

一金

Ⓢ

寄納金

但何年何月分

右正ニ領收致候也

明治 年

由斯會本部

名印

月 日

會長 姓

名印

何會員何某殿

第 號

主任

Ⓢ

會員番號

第 號

會員

姓名

支部名稱

支部

姓名

送金手續

郵便 銀行

為換番號

第 號

假證番號

第 號

第 號

納金月額

金

納金月別

月分

一金

摘要

明治 年 月 日納

請取簿

丁數

丁記入

出納簿

丁數

丁記入

割印

(號 五 第)

第 號 納 金 報 告

一 金

何 月 納 金 額

內 譯

會員番號	會員等差納金月額	納金年月日	納金額月	別假証番號	姓 名
第 號	等 金	明 治 年 月 日	月 分 第 號		

右之通相違無之候也

何 支 部 長 姓 名 印

明 治 年 月 日

由 斯 會 本 部 御 中

(號 六 第)

第 號 支 出 金 報 告

一 金

何 月 分 經 費

內 譯

金 額	費	目 事	由

右之通相違無之依テ正當領収証相添此段及報告候也

明 治 年 月 日

何 支 部 長 姓 名 印

由 斯 會 本 部 御 中

(號七第)

第一號	主任	×印ハ朱書
送金狀		
×一金	×何月分納金報告第何號之通	
×一金	×何月分支出金報告第何號之通	
×差引殘		
×金		
一金		
右ハ(第何號納金報告書ノ二通ヲ付シ朱書ノ通 リ決算殘額〔郵便爲換〕第何號ヲ以テ御送致ニ 及ヒ候也		
明治 年 月 日	由斯會何々支部	
會長 何 某殿	支部長 姓	名印

(號八第)

本部直轄内會員寄納金受取簿ノ雜形		會員番號	入會年月日	寄納金總額	同月額	現住地	姓	名
第	號	明治	年	日	金	金	金	金
入金年月日	領收證番號	納金	額	月	別	摘	要	
明治 年 月 日	第 號	第 號	金	金	月 分			

明治二十七年六月四日印刷
同 年同月十日發行

發行者

東京市麻布區麻布西町十八番地
山口 蕃 昌

印刷者

東京市麴町區麴町十丁目四番地
岡本活版所
岡本利三郎

7
9

014694-001-0

特17-899

由斯会趣意書並会則

山口 蕃昌 / 刊

M27

ABB-1133



由斯會趣意書並會則

同效會第一回會報

国立国会図書館

特
8